

# キッズみんなの日記

2月号

熱をだした姉  
昨日、姉が熱をだしました。それで、夕飯を全然食べませんでした。

二月四日は立春。暦の上では、春になります。早咲きの梅や菜の花が開花したこのニュースもあり、春の訪れを感じる一方、一年で一番寒さが厳しい時期でもあります。インフルエンザも猛威を振るっています。元気にこの寒さを乗り切りたいですね。さて、梨香台セミナーでは、キッズ生として学習してきた六年生は、来月からは、中学部に進級します。六年生のみなさんの日記を添削するの今月が最後となります。毎年、この時期は、みなさんの成長が嬉しくもあり、ちょっぴり淋しい複雑な気持ちになります。講師一同、よ心を込めて授業、添削にあたらせていただきます。

先日行われた「キッズ新年度説明会」には、お忙しい中多くの保護者の皆様に「ご出席いただきまして誠にありがとうございました。」

## 優秀作品紹介

★「理由」+「気持ち」で

### 日常の「コマ」を生き生きと

むかしあそび

あした、がっこうでむかしあそびをします。

いちばんきになっているのは、けんだまです。それは、わたしがいちばんとくいだからです。

「やきゅう」のわざをがんばりたいです。もしかめは、じょうずにできました。

(小一・WYさん)

Yちゃん、けん玉が上手なのですね。むかし遊びは、どれも練習が必要なものばかり。けん玉の技も、きょうたくさん練習したので、うね。理由をそえて、「気になっているもの」を上手に紹介できました！



ただ、なぜかシャワーをあびていました。なぜ熱があるのにシャワーをあびているのかなーと思いました。

次の日の朝、姉は十時まで寝ていました。起きたら、すぐ肉まんを食べたから元気だと思いました。

(小二・TTさん)



丁ちゃんは、お姉ちゃんのことをよく観察していますね。お姉ちゃんの「行動」から、「心配」する気持ちや「安心」した気持ちを見事に表現しています。「食欲」を健康のバロメーターにしている所も面白くてわかりやすい！

★★★セリフや行動から

### 映像が浮かぶ文章を

スイミング

去年の春から、わたしはスイミングを始めました。

十二日のスイミングでは、まずバタ足をしました。次にクロールの練習をしました。五〇m泳げるけど、いきつきがむずかしいです。

さい後には、背泳ぎのとっくんをしました。背泳ぎは、手を回すタイミングが合わないの、次の進級テストでがんばります。

(小三・TMさん)

Mちゃんの練習風景が目に見えようですね。スイミングで練習した内容だけでなく、どんなところで苦労しているかをきちんと説明し、これからの目標へとつなげた最後の一文が文章全体をピリッとめています。



ハンドベースボール

「ストライク。」

「アウト。」

今日は、家の近くの公園でハンドベースボールをやっています。

ハンドベースボールは、ピッチャーがボールを投げて、バッターが手でボールを打ちます。そして、キャッチャーがボールをとって、そのとった人の後に守る人が並んでいけばアウト、その前にいるを回ってベースをふめばセーフです。また、試合は、チームに分かれて、一つのチームはせめて、一つのチームは守り、もう一つのチームはしんぱんというルールです。

今の所、二勝〇敗で〇対〇と、びみょうなかんじになっています。ここでホームランを打てば、三勝〇敗で完全勝利です。

「からぶり、三しん、バッターアウト」  
「ついにぼくの番が来てしまいました。」

「次の人。」  
ぼくはがくがくになりながら、前に出ました。

「ストライク。」  
ぼくは、手を思いっきりふりましたが、あたりませんでした。

「ストライク。」  
またまた、当たりませんでした。

「今度こそ、当ててやる。」  
ぼくは、カいっばいボールに向かって手をふりました。

「ホームラン。」  
「……やったー。」  
ついに、一対〇、三勝〇敗で完全勝利できました。これをマグレと言うのか、それとも実力というのか、たぶんマグレ



だと思うけど、本当はどっちなのでしょう。か。



(小四・HT君)

セリフから始まる印象的な書き出しで、読み手を、T君達がいる公園へと一気にいざないます。説明文も実在的的確です。チームの一番という時にバッターボックスに立ったT君、ハラ、ドキドキしますね。気持ちの変化も見事に表現しています！お見事！

★★★説明や描写を工夫して  
思いを伝える

ソラマチ

昨日、ソラマチへ行きました。車で家族と一緒にきました。

私は「ソラマチ」とは、そのような地域(町)のことだと思っていたのですが、想像とは全然ちがってショッピングモールでした。

とっても混んでいましたが、途中でいっきに空きました。

私は、「サンプル屋」というお店で、よく料理店にあるサンプルを作れるキットを買いました。スパゲッティのミートソースです。とってもリアルでした。お母さんとお父さんは、スイーツを買っていました。楽しかったです。

(小五・YMさん)



Mちゃんが名称から想像する「ソラマチ」と実物には大きなギャップがあったというエピソードを利用して、上手にソラマチを紹介できましたね。海外には無い、日本特有の食品サンプル。職人さんの技術の高さが大人から子供まで魅了するのでしょうね。私も欲しい！

なわとびがなくした友達

今日の五時間目は、体育館でやる体育だった。体育館に行く前に先生が、「今日、なわとび持っていった。」と言った。そして、みんななわとびを持って教室の後ろにならんだ。しかし、ぼくは、ろうかに人がいると思った。見てみると多くの友達だった。なにか友達の行動がおかしいなあと思ったので、友達に、「どうしたの。」

「言った。そうしたら、友達が、「なわとびがない。」

「どの辺りにあるの。」

「どこかに落ちてる。」

「言った。しばらく探して、ぼくはあることに気づいた。そして、それが的中した。」



やっぱ、とぼくは思った。それは、友達のものかかった。急いで友達の所へ行った。そして、なわとびをわたした。その時の友達の表情は、少しわらわら顔だった。そして、友達は、「〇〇、ありがとう。じゃあ行こう。」と言った。ぼくは、とてもうれしかった。

友達の異変に気づき、すぐに手を貸してあげられたA君は優しく、しっかり者ですね。友達との会話や行動から、その時の二人の気持ちや様子が手に取るようにわかります。友達が笑顔を見せ、A君もうれしくなる場面は、心がほんわか温かくなります♪

さようなら

去年のことです。となりの家の犬がなくなつたことです。二〇一二年十二月十五日のことです。私は、その犬ととても仲良しだったので、とてもショックでした。

その犬は、五郎と言いました。

五郎は二十年生きました。とても、長生きでした。

私は亡くなったものは、風になると聞いたことがあります。その五郎も、今は風になって見守っていてくれるのかな。

私はそう思います。さようなら五郎。いつまでも、見守っていてね。



「さようなら、五郎」という絵本ができて、すてきな出来映えです。Mちゃんにとつて悲しい別れを、風になって見守ってくれていると解釈したことで、寂しさだけではない何か五郎との絆のようなものを感じさせてくれます。

なわとび

今日は、六時間目に体育の授業がありました。今日は、なわとびがありました。

なわとびでは、特級というのがあり、前とび千回、後ろとび七百回、二重とび百回、の三種目全部を合格すると、松戸市から賞状がもらえます。ぼくは、それを四年生の時にとりました。

でも、去年は、前とび千回だけで、賞状をもらえませんでした。だから、今年も、全部とろうと思いましたが、

そして、今日、ぼくは、二重とび百回をねらおうと思いましたが。だけど、残五回という時にスタミナがなくなって残り一回で終わりました。とつてもくやしかったです。また二重とびに挑戦し、百回とべるようになりたいです。

(小六・YS君)



四年生で賞状をもらっているS君を尊敬します。クリアすべき技の説明を読むだけでめまいがしそうな回数ですね。縄跳びを通して、三年間の自分を見つめ、見事に話題を書き広げています。是非、今年も頑張ってください！

とう芸教室

今日、五年生は、図工の時間にとう芸教室をやりました。

とう芸教室は、ねん土で作る「焼き物」です。私は、

「早く、焼き物を作りたいな。」

と思っていました。

私は、ハート型の小物入れを作りました。ペーパーウェイトでは、バスケットボールの置物を作ったりして、とても楽しい三時間でした。ねん土で作るので、やわらかくて大変だったけど、とっても良い体験になりました。

今度は、家でも挑戦してみたいです。

(小五・HYさん)

陶芸教室を楽しみにしていたYちゃんが夢中になって物作りをしている様子がとても良く伝わってきます。家でも挑戦したいという表現することで陶芸が楽しかったことを上手に強調しています。

もう飛行機はやだ

ぼくは、耳はいいのですが、気圧の変化に弱いので、ほんとうは飛行機はいやでした。しかし、北海道に行けるならいいやと思ったので、行くと言いました。飛行機の中で耳せきをぬいたら気持ちわるくなるので、音楽をききました。飛行機の中でもどしてしまふ人もいました。

ようやく着いたと思ったのに、北海道は大雪のため、二時間くらい空で円をかくように回ったすえ、ようやく着きました。もう、北海道は飛行機で行きたくないなと思いました。

(小五・MM君)

M君の日記を読んで、少しの標高差でも敏感に感じる、あの嫌な感覚を思い出しました。機内でもどす人を見たり、大雪のため陸が遅れたり、ますます飛行機嫌いになりそうな体験でしたね。でも、大丈夫。不思議と大人になると鈍感になりますよ！

コンサート

今日、KARRAのコンサートに行きました。東京ドームでKARRAのコンサートがありました。私は、お母さんと一緒にいきました。

席は、一階の前の列でした。開場は六時だったけど開演したのは、六時三十分でした。私は、二時間やるのかなと思っただけど、二時間三十分やりました。歌った曲の数は、二十五曲です。アンコールが二回ありました。私はとてもうれしかったです。なぜかという、KARRAのみんなが、車みたいな乗り物に乗って、私達の前を通ったからです。

終わった時間は、九時くらいだったので、外もまっくらでした。その日は、風が強かったので、吹き飛ばされそうになりました。だけど、KARRAのコンサートは楽しかったです。



大好きなKARRAが手の届きそうな近くを通ったら、それは、それは興奮するでしょうね！嬉しかったことは理由を添えて、上手に表現しています。まっ暗になっても、風が強くてコンサートが楽しかったMちゃんには全く問題なさそうですね！

(小六・KMさん)

### 伊藤先生のおすすめ本



#### ★低学年★

ゆきのひ 偕成社  
イラスト：キキキ  
雪おとし、雪だるま、雪で遊んだ1日の感動と喜びを美しい切り絵で表現した1冊。

#### ★★中学年★★

大雪 岩波書店  
ゼリナ・ハヴ 著・70頁・加沢1絵  
雪国の大自然の美しさと厳しさ、その中で輝くキラキラと輝くこどもたち。スイスの画家加沢1の美しい絵も魅力の1冊。

#### ★★★★高学年★★★★

クマのプーさん 岩波少年文庫  
A.A.ミル 著・E.H.バグドー イラスト  
みなさんご存知のクマのプーさん。幼い少年クリストファー・ロビンが、美しい森を舞台に仲間達とゆかいな冒険をくりひろげます。